

心のケア研修会

「子どもの自尊心を育むために支援者が出来ること

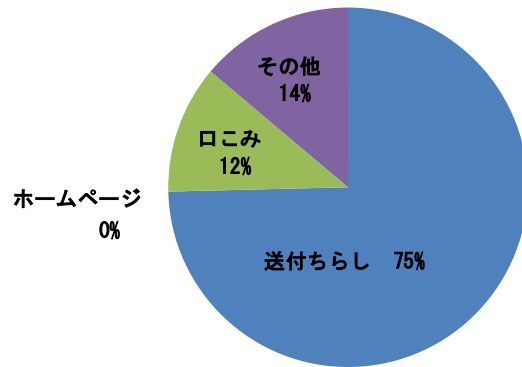
子どもの心に寄り添う ～自分癒しの力をいかす関わり方～

アンケート集計結果 (H26.10.17 講師：田中万里子先生)

●参加者…143名、アンケート回答者133名 (アンケート回収率 93.0%)

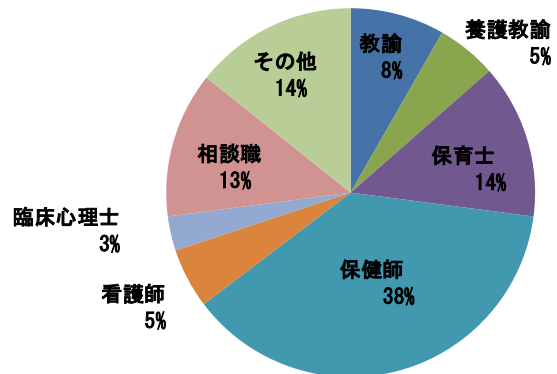
1 本日の講演会は、何でお知りになりましたか？

送付ちらし	97
ホームページ	0
口こみ	15
その他 (新聞記事等)	18



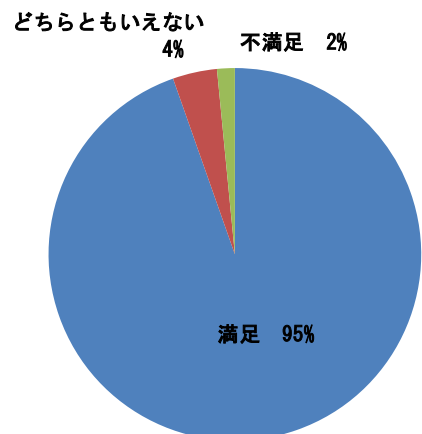
2 ご職業を教えてください。

教諭	11
小学校	10
大学	1
養護教諭	7
保育士	18
保健師	50
看護師	7
臨床心理士	4
相談職	17
その他 (助産師、NPO職員等)	19



3 本日の講演会はいかがでしたか？

満足	123
どちらともいえない	5
不満足	2



4 ご感想を教えてください。

- 「子どもの心に寄り添う」ということについて、少し分かったような気がします。どっしりとした人になれるよう、がんばります。ありがとうございます。(小学校教諭)
- 自分の中で言語化されていなかったことがスッキリ整理された感じです。私はこういうことが言いたかったんだ…と。お話の一つ一つが実感でき納得のいくものだったように思います。子どもだけでなくお家の方々にどっしりとしていただくためにも（そこがとても必要と切に感じるので）自分自身の安全感を大切に、「ただいること」ができるよう訓練を積み重ねていこうと思いました。また、このお話を必要としている同僚がたくさんいるように思います。機会をうかがってお話できたらいいと思いました。ありがとうございました。(小学校教諭)
- とても参考になった。とても良かった。どっしり構え、向き合える時間、心のゆとりを作りたい。(小学校教諭)
- そのケースに沿った手立てをわかりやすくお話していただき、大変役に立ちました。ありがとうございました。(小学校教諭)
- 目からウロコの感覚で拝聴いたしました。自分の安全安心をしっかり保った上で、子どもと接することの大切さが分かり、今後の指導に生かしたいと思いました。(小学校教諭)
- 大好きな田中万里子先生のお話を聞くことができうれしかったです。1つ1つうなずけるお話でした。すっきりしました。自分自身も安心安全を基盤にさせていただくこと、相手に関心をもってよりそうこと、一緒に感じようとする。意識していきたいと思いました。(今までの子育てや学級運営、保護者対応を反省しながら…)(小学校教諭)
- 「情動調整」と言葉で聞いただけでは、よくわかりませんでした。最後の質問の時間、最後の方へのお話がとても具体的でよく分かり、納得がいった感じです。「IQ ではない」とも心に残る言葉ですが、学校現場で 30~40 人を相手に、どっしりかまえて、ただその子のためにいるというのは、無理があるのが実状です。親の方にも踏み込むことは難しいです。(小学校教諭)
- 先生の研究等から様々な事例と対処法を具体的に聞きたかった。全体的に一般論的な印象。(小学校教諭)
- 一般論ではなく、講師の先生が携わった具体例を聞かせてほしい。講演会の中で参集者にたびたび質問する場面がありましたが、知らない者どうしが集まっている中では、自分をさらけ出すような質問は答えづらいものです。まして答えると次から次と質問が来るのは大変です。「あなたはどんな安全安心を脅かされているの？」と言うことばで相手に聞くのは現実的ではないように思います。質問コーナーは具体的な話で良かった。(小学校教諭)
- 具体例（ご自信の体験談など）を多く上げていただきながらの講演だったので、自分自身のこと当てはめて聞くことができ、非常に中身の濃い講演でした。(大学教員)
- 事例をあげてのわかりやすい講演でした。せっかくなので、悩みについては事前に受付していただけると出しやすい。突然みなさんの前では言えなくて残念でした。質問している人もまとまらずわかりにくい。記録写真をとっている方がムダにずっと一番後ろに立っていた。疲れていたのか、時計ばかり気にして立っていたから、とても嫌だった。(養護教諭)
- 昨年に引き続き、田中先生のお話を聞くことができ本当に良かったです。子どもに寄り添う - 話をただ聞く - どちらも難しく、頭でわかったつもりでいても実践するのは本当にできなくて、いつも自分がしゃべってしまって失敗ばかりです。尊重した態度で接し、どっしり構えてみようと思

います。(養護教諭)

- 被災地の子どもはまだまだ心が不安定なため、今日の講演でのことを心にとめ、子どもと向き合っていきたいと思います。とても良いご講演ありがとうございます。(養護教諭)
- 子どもの目線に立ってよりそって関わっていききたいと思います。(養護教諭)
- 昨年も田中先生の講演を聞かせていただきました。聞いた時は何かが見えたような気がしたのですが、今日またお話をうかがい再度確認ができました。今の保健室での自分の姿勢、対応で良かったんだと安心していきたく強く思いました。また田中先生のお話を聞きたいです。(養護教諭)
- とても大切なことを分かりやすく教えていただき、とても勉強になりました。養護教諭として、二児の母として、一人の人間として、まず自分を知ることから初めていきたくと思います。今でも自分居場所は何なのか、存在する意味まで考えてしまうことがあります。こんな不安定な気持ちでは子ども達を支援していくことはできないと思いましたが、まず自分が変わるよう見つめ直したいと思います。(養護教諭)
- 虐待(ネグレクト)の子を受けもっています。先生のお話の中で”子ども達に関わる大人に必要なことは、自分自身の安全感(どーんとかまえる)がまずは大切”という言葉が印象的でした。世話をせず引きこもった母親をどうしたら良いか対応に追われていましたが、心に寄り添う(気持ちを聞く)ことを忘れていたかもしれません。今回の研修は現場で働く保育士はもちろんですが所長・副所長クラスにも聞いてほしい!!と思いました。子育て支援課を通してもっともっと参加者を募っても良かったのでは。後半の具体例、良かったです、とても。ぜひ来年も!!(保育士)
- 自分の安全感を保ち、子どものそばにいて寄り添っていきたくです(自分の傾向を知っておくことが大切ですね)「自分が変わるとまわりが変わる」ありがとうございました。(保育士)
- 家庭での問題を第三者が介入し、ケアしていくのは難しいと思った。時間をかけて関わりを持つ中で、自分も少しずつ勉強になっていくと思う。自分に余裕を持ち、耳を傾けていきたい。(保育士)
- わかりやすくまとめられた内容で基本にたちかえることができました。日々子どもや保護者に関わる上での大切な部分を考えさせられました。子ども達のことばにならないことばを感じながら、心に寄り添っていてあげたいと改めて思いました。自尊心、自己肯定感が少しでも育つような関わりをしていきたくと思います。(保育士)
- とても勉強になったが、保育士の私達が参加するより、保健師、看護師、臨床心理士、相談職の方達がタイムリーで子どもたちへの援助がすぐできるだろうなと思いました。邪念を持たず、ありのままの子ども姿を受け入れるのはとても難しいけど、でも子どもに寄り添っていこうと思います。(保育士)
- 今回の講演でたくさんの事を知る事ができました。保育士2年目で子どもとのやりとりや泣いたり、何で泣いているのかわからない時があったが、今回の話を聞いてわかったような気がしました。ありがとうございます。(保育士)
- 専門的なお話で奥深いと思いました。気持ちに寄り添う、話をきくという所は基本だと思いましたが。情動的に寄り添うのは訓練が必要=自分を磨く ことだと思いました。ありがとうございました。(保育士)
- 子どもの心、親の心に寄り添う、話を聞いてあげる。自分がどっしりと構える事の大切さを知りました。(保育士)
- 又、聞きたいと思いました。(保育士)

- 今困っている事により近いお答えをいただけたように感じました。” 答えはその人にあり” いつもこのことを意識して子どもに接しています。(保育士)
- 今抱えている問題に対してどうあるべきか…大変役に立ちました。ありがとうございました。(保育士)
- 保育園で毎日子どもたちと接している中で何を言っても聞かない子（一度パニックになると大泣きしてしまう子）に、どのように接したらいいのか悩んでいたが、今日の講演を聞いて、まずは寄り添うこと受けとめることを大事にして自分の安全感をドン！とかまえ接していきたい。(保育士)
- 大学でも相手の思いに寄り添うこと、まずは話を聞く、理解することが大切だと学んできたが、現場に立ってたくさん子ども達、親と関わる中で振り返った時にしっかりその子の話を聞いてあげられなかったり思いを一方的にとらえてしまうことがある。今回のお話を聞いていて、自分がどれだけ相手の思いに寄り添ってあげられているか問うことができたように思う。大人になればなるほど、自分本位の決めつけで向き合うことが多くなっているな、と感じた。自分を知り、ゆとりをもっと大切にしたい保育士として私らしく子ども達のために日々一緒に生活を送りたい。(保育士)
- 質問コーナーがあって良かった。自分が安全感を持たずに成長し、教育、保育の場で仕事をしたり、親になった場合…を考えると…自分にもあてはまり、今後どうしたら…。居場所を作ろうとするのは子どもだけではないんだな…と思いました。自分がかわれば周りが変わる…身にしみました。(保育士)
- 現在、震災時に胎児だった子ども達の担任をしています。胎盤を通して恐怖を感じていたというお話を聞き、時々おびえた表情をしたりする子どもがいるので、もしかしたら震災の影響なのかもしれないと感じました。このことを踏まえ、その子ども達に寄り添っていきたくと思います。(保育士)
- 保育士として一人一人の子どもに寄り添う保育をめざしています。今後もこれでいいんだ、と迷いなく保育をしていきたいと思いました。反面、自分の子どもに対しては自分の型にハマ、向き合ってこなかったのでは、と反省しました。気づきを与えて頂き、講演会に参加できたこと感謝いたします。(保育士)
- 波長を合わせていくことの大切さ。自分の感情処理が大切であることを再認識させられた。子どもとの関係ですっかり信頼をなくし、またやってみようと思いました。(保健師)
- 共感して聴くことの大切さをまた今日振り返ることができたと思いました。統合の話も興味深かったです。(保健師)
- 共感することや、寄り添う支援、関わりについて整理ができました。日々の支援ではいろいろなことを頭で考えてしまいがちですが、相手の中の答えにたどりつくまで、じっくりと話しを聞いていく大切さを改めて感じました。(保健師)
- 「ケースの変化は支援者である自分の変化」100%は難しいですが、自分の安全感を保ちながら相手のために寄り添える支援者でありたいと強く思いました。ケースの対応の良い振り返りにもなりました。(保健師)
- どっしりと構えて分かってあげる、むずかしいことではありますが、素朴なところに戻って深く考えることができた研修会でした。(保健師)
- 「自分で自分のことを知る」ことが相談を受ける立場ときちんとわかっていることが大切と思いました。もっと自分を観察モニターしていこうと思いました。相手のためにここにいるという意味が講話をきいて理解を深められました。一番大切なことなのですね。(保健師)

- どっしりと側にいる、ということの深さがわかった。普段あまりきけていない、次のことを考えていたりして…ということ振り返ることができました。ありがとうございました。(保健師)
- 気持ちに寄り添う。分かっているけど上手くできていない自分があるなあ、難しいことだなあと思いつつながら田中先生のお話を聞かせていただきました。具体的なお話(質問)もお聞きすることができ、勉強になりました。ありがとうございました。(保健師)
- 保健師の業務の中で、引きこもりのケースや、虐待のケースに対応することも多く、子どもたちが安全でいられるために、少しでも安心してもらえるよう情動的な寄り添いをするのが本当に大事なんだと再認識できました。自分自身も年を重ねると、仕事だけでなく自分の家庭・育児でも悩みや問題を抱えてくる中、この度のお話の中で自分の安全感を振り返ることができ、ヒントを与えていただきました。どっしりとかまえた姿勢でいられるよう、自身のケアも大事だと思いました。ありがとうございました。(保健師)
- 保健師という前に、いち母親としていつも聞かせていただいています。親と子のすれ違いは、耳の痛いところでした。自分を知るところからやってみたいと思います。(保健師)
- 分かりやすく具体的内容でした。自尊心がないまま育った大人に対しても同じように関わってみたいと思います。(保健師)
- 頭ではわかるのですが、レベルです…。本質をお話されていることはわかります。(保健師)
- 今まで自分自身の安全・安心感が足りなかったように感じ反省させられました。仕事だけでなく家庭においても子どもの目線であったり関心寄り添うことを意識していきたいと思います。(保健師)
- 肩に力が入りすぎていた自分に気付くことができた。(保健師)
- 本日はありがとうございました。日頃の自分を振り返る機会となりました。(保健師)
- 自分の安全を保つことも難しく感じますが、今日のお話をもとに少しでも子どもの心に寄り添えるようになりたいです。(保健師)
- 前回にも聞いた内容もあり、さらによくわかりました。とても良い話でした。でも実行するのは難しいなと思うところもあります。寄り添うということ自分の気持ちも常心で豊かでないといけないよね。(保健師)
- 子どもの問題行動の原因は必ずあり、受けとめ・理解することの大切さを改めて学ぶことができました。(保健師)
- 今回は子どもに対する関わり方の土台としてとても参考になりました。大人の場合でも何か問題行動を起こす方も子どもの問題行動と同じ反応のように感じた。年齢問わず、本当にそこに居て寄り添うことが必要なことなんだと改めて学んだ。(保健師)
- 「寄り添うこと」ととてもシンプルで重い言葉でした。何かクライアントに対して何かしなくてはいけない、変化や評価を求めてしまいがちな日々を送っています。自分自身と向き合うことが一番難しいと思いました。ありがとうございました。(保健師)
- 事例を交えながらだったので、相手のためにそこにいることの大切さや答えは本人の中にある、という意味がより分かった気がします。(保健師)
- 安全・安心感が守られていることの大事さについて、とても勉強になりました。どっしりとそこに居られるようになりたいと思います。(保健師)
- とてもよかったです。子どもだけでなく大人(だれにでも)にも共通する部分があると感じました。大人でもサバイバル状態になると”なんでこんなことするのか?”と思うことがあります。職場

で（社会の中で）大の大人が…と思うこともありますが、対応の方法はどうすれば良いのかなと思いつきながら聞いていました。参考になりました。ありがとうございました。（保健師）

- ただいること、安全感、相手のためにいること。できるだけ話をきいてあげることが大切だと学びました。またそれがどうしたらできるようになるのか。（保健師）
- ”ありのままを受け入れる”という重要性を学んだ。これからの支援につなげられるようにしていきたい。（保健師）
- 初めて田中先生の講演会をききました。ずっと聴きたかったのできけて良かったです。（保健師）
- 寄り添うということ、とても大切だけど難しいですね。どうしても早くなんとかその場や現状を変えようとしてしまう。どーんとかまえて、安心させる。相手の気持ちを受け止めることの大切さよくわかりました。（保健師）
- とても満足です。あこがれの万里子先生のお話を伺いたくて参りました。今まさに虐待（性）された女性の支援に入ろうとしている時でした。私の覚悟が決まりました。何度お話を伺ってもその度に学ぶことが沢山あります。「子育てのコミュニケーション」は私の中の「愛着」の植えつけになりました。もっと学びたいです。（保健師）
- より自分を振り返ることができました。もう一度復習した感じです。（保健師）
- 関わり方が自己流になっていたかもしれないという振り返りができた。その人のために全力でそこにいるということをがんばってみようと思う。（保健師）
- 話をきく者としてのあり方を学ぶことができました。母親としても話をきけてよかったです。（保健師）
- どっしりと寄り添えるために自分自身のメンタルが安定していなければならないと思いました。上手にストレス解消することが大切と思いました。（保健師）
- ありがとうございました。技術が必要だと思い、誰かそれができる人をさがそうとばかりしていました。自分がどうかかわろうとしているかが課題だったのだと気づかされました。私はつつい自分の価値観を押しつけがちなところがあるので、今後注意しながらどれだけ相手の気持ちに近づけるかわかりませんが、努力していきたいと思いました。（保健師）
- 日々業務をこなすことに精一杯な中で今回講演をきいて自分の関わりについて見つめなおすきっかけになった。（保健師）
- 支援者として何かしなければいけないと思っていたが「自分の答え」を意識して関わっていこうと思います。（保健師）
- 何かしようとあせらず、気持ちを感じられるように一緒に時間を持って、待っていきたいと思いました。自分も余裕をもてるよう、しっかり休みもとりたいと思います。（保健師）
- 日頃の自分の支援のあり方をふり返り、よかったところ、よくなかったところに気づくことができました。自分自身の心のあり方についても考えることができとてもよい研修会でした。ありがとうございました。（保健師）
- どっしりとそこにいられるよう、経験を積みたいと思います。（保健師）
- 豊富な経験、具体的なお話でわかりやすかった。（保健師）
- 改めて、自分がどっしりとかまえる大切さを学びました。（保健師）
- 支援する以前に自分自身のことを知り、安心感・安全感をもつことが相談者と向き合う上でも大切なことだということを知りました。気持ちに寄り添うことの大切さは言葉ではよく聞くものの具体

- 的なところまではここまでじっくりうかがう機会はなかったので大変勉強になりました。(保健師)
- とても大きなものをいただきました。すばらしかったです。PHNとしての仕事よりまず今までの子育てを後悔し、これから、今日から、子どもに寄り添って生きていこうと強く思いました。今までのはひどかった。悩みがつきない程たくさんありますが、自分の対応が原因のものも大きいように思います。とにかく寄り添ってここにいる、感じることから実践してみます。そしてそれが仕事にも活かせると思いました。人生が変わるようなお話でした。自分の安全感が不安定なこともわかり、また自分に対しても対応していこうと思いました。(保健師)
  - 支援者として母として、相手に寄り添うことの大切さを改めて感じました。解決策を考えながら話を聞きがちになってしまっていますが、とにかくありのままを受けとめる。それがまた難しいとも思いました。(保健師)
  - スッキリまとめられていましたが改めて共感することの難しさを感じました。自分の安全を守りどっしり構えて…良かったです。(保健師)
  - 説明の内容が抽象的で具体性がなく分かりにくかった。言葉ひとつひとつも言いたいことはなんとなく分かるが、もう少し事例でもって説明してほしかった。レジュメも字ばかりだし、話が抽象的なのにレジュメも抽象的で分かりにくかった。(保健師)
  - そばにいて話をきくだけでいいんだと思いました。(看護師)
  - ケースを通しての話がもっとほしかった。子どものまわりにいる大人の心の栄養と心のゆとりが(時間)大切だという事がわかりました。(看護師)
  - ゆったりした気持ちで寄り添っていきたいと思います。(看護師)
  - 心に寄り添うというのは、言葉にすると簡単なのですが、実際はなかなか実行がむずかしいが、自分自身が落ち着いて相手の事を感じとっていくことの大切さをさらに共感しました。ありがとうございました。(看護師)
  - まずは自分がどっしりとかまえること。自分がどっしりいられるために、自分自身をふりかえってみるところから始めたいと思いました。(看護師)
  - 自分が変わればまわりも変わる”日頃より相手に関心をもって寄り添うことや自分自身の安全安心が得られるようにすることがとても大切であることを学ばせて頂きました。ありがとうございました。(看護師)
  - 心のケアを聞いて子どもの目線になって接したり、本人の不安をとりのぞいたり、安心して生活ができるようにしていきたいと思えます。(看護師)
  - 寄り添う事の大切さがとても良くとわかりました。(助産師)
  - 子どもが安心・安全を感じる為には、気持ちに寄り添い、共に一緒にいることを大切に感じました。子どもが問題行動をおこす気持ちのうらには気持ちをわかってほしいと思っていることを感じながら、これからも仕事にも家庭にも生かしていければと思います。ありがとうございました。(助産師)
  - 昨年も聴きましたが新たな内容でよかったです。(臨床心理士)
  - 様々な方法論に関する講演会、研修会が多い中で、私たちのあり方について中心にすえての話を聞いたのは大変良かった。自分自身を見つめ直すことが大切で、自分が安心・安全な態度でまっすぐに向きあえることが必要と感じる。(臨床心理士)
  - 講演内容がとてもわかりやすく、自分自身の臨床のあり方を見つめ直すとても貴重な時間になりました。技法によらない、支援の根幹の部分の部分を学べましたが、どうやったら”ただただ相手のために

いる”ことができるようになるかはイメージしきれませんでした。(臨床心理士)

- 情動調律の話は説明がわかりやすかったが、実践するのは難しいと思った。(臨床心理士)
- 2時間がとても短く感じられました。自分がどっしりと構えていることが大切だと感じました。(相談職)
- ただ言葉で寄り添うといってもどうするか分からなかったが、この講演会で少し分かったような気がする。(相談職)
- 実際の事例をまじえてお話くださったことで、イメージをもちながら伺うことができました。邪念をとりのぞき、クライアントに向き合っていきたいと思います。(相談職)
- とても勉強になりました。(相談局)
- 関わっている子どもの問題行動になかなか変化がなく、自分でも焦りを感じていたところですが、まずは、子どもが安心感を感じられるような面接を行っていくことが解決への糸口になるのだと思えました。(相談職)
- 身近な例から分かりやすいお話で今後の業務に生かしていきたいと思います。(相談職)
- わかりやすい講演でした。今後いかしていきたいと思います。(相談職)
- 知識やスキルだけではなく、私がどっしりとかまえて目の前の人(クライアント)の前に居るということ、寄り添うことで相手が自分で自分の問題を整理できるというシステムに、私自身も安心な気持ちになれます。私自身の安全感安心感を大事にします。(相談職)
- 勉強になりました。ケースとかかわると一緒にオロオロしたり、揺さぶられたりすることが多々あり反省しています。まずはどっしりかまえる練習をしないとと思いました。(精神保健福祉士)
- 「寄り添うこと」の大切さと難しさを感じました。(相談職)
- 相手のために、そこにいることの大切さを実感しました。(相談職)
- 自分の面接をふり返って、その人のために100%いるということは非常に難しいことだと感じました。特に経験が浅いため、所内の評価をかなり気にして関わっていることもあったと感じます。大変貴重なお話を聞くことができ、嬉しく感じます。(相談職)
- 自分の面接の中で、まず自分が落ち着いていないのでは、とあらためて振り返ることができた。(相談職)
- とても新鮮でした。ありがとうございます。クライアントのためにどうするか、という講演はあるが、援助者のためにというのは少なく、とてもタメになった。(相談職)
- 相談職につきながら、自分の息子の問題行動に悩み、問題児扱いされるたび心がやみ、どうする事もできずにいた頃、今までの自分をすててみようと思ひ、とにかく子の事を受け入れてみようとなぜか?をいっしょに考えてみようと…今日の話をきいて、どんとかまえるコト、母として相談員として共感する事を忘れずにいようと思ひます。(相談職)
- すごくわかりやすく、理解できました。(相談職)
- 子どもの気持ちに寄り添うということがなぜ必要なのか、どう作用するのかが勉強になりました。(相談職)
- ゆったりとした間で、理解しやすかった。ありがとうございます。(子育て支援サポーター)
- 子ども達からのSOSの手紙の対応をするに当たり、とても参考になりました。ありがとうございます。(人権擁護委員)
- どっしりとかまえていられる人になりたいと思いました。子どもも職場でもそういう存在でいられ



るように。寄り添うことを改めて考えさせられました。(NPO 法人職員)

- これまでの自分自身の子どもの関わり方で反省することや、「これで良かった」ということがたくさんあり、これからの活動に活かせる内容だった。(NPO 法人職員)
- 「子どもの心に寄り添う」テーマは過去にも学んだ事があり、改めてどれだけ子どもに関心を持ちながらそばにいる事が大切か気付かされました。(NPO 法人職員)
- 時間がたつのがわからなくなるほど興味深い話だった。(行政職)
- 貴重なご講演をありがとうございました。子どもや問題行動をより具体的に細かいケースにわけたお話をまたぜひお聞きしたいです。(学生)
- ”その人の中に「答え」を持っている”その人なりのその人に合った解決方法だと思います。人は誰も自分が一番正しいと思いがちなので常に私自身は私の中で物事に対する時は!?両方持つようにしたいです(むずかしい!!!)(里親、塾スタッフ)
- とてもよかったです。相手に寄り添う、相手の目線に立つことの大事さを知りました。相手が心を開くためには、自分がどっしりと深く根をおろし、空になり何も考えないで相手のためだけにそこにいることが大事だとおっしゃっていましたが、そのようになるための具体的訓練方法が知りたかったです。(教育サービス業)
- 気持ちに寄り添うことの大切さを知りました。また、寄り添う側の安全感も大切であることを学べたことが大きい収穫となりました。今年の講演を拝聴できず残念です。(主婦)
- とてもためになる講演でした。人間関係全般につながるお話ありがとうございました。家庭の中を振りかえるきっかけにしたいです。(主婦)
- 子育てをしていくうえでまず、親の安心安全感が必要なのだと感じました。まず寄り添う事を一番に考えたいと思います。ありがとうございました。(母親)
- 自分の日頃の接し方を考えながら聞くことができ、とても勉強になりました。(事務職)
- また講演をしていただきたいです。(その他)
- 今後享受を基に対人関係に役立てたいと思います。(地区民生委員)

##### 5 今後、どのような内容の講演会をご希望されますか？

- 2回の講演を拝聴させていただきました。また、このような関連の講演を希望します。よろしくお願いたします。(小学校教諭)
- 具体的な問題事例を通した話を聞きたい。(小学校教諭)
- 子どもへの虐待(特に親=母親・母親との同居の男性)を防ぐ為に、どんな支援をどんな方法で進めていけば良いのか(関係機関も含めて)具体的方法に関しての講演を聞きたいと思います。(大学教員)
- また、田中先生より子ども支援、また自分を安定させること、自分自身の安定感のためにできることをさらにお聞きしたいです。(養護教諭)
- 子どもより保護者の対応に追われてストレス過多になっている先生たちが多くなっています。又、職場の人間関係(新人が言うことをきかないなど)も難しくなっているように思います。ストレスにならないような人間関係づくり自分自身と向き合っていくかなどメンタル部分での講演会を希望します。(保育士)

- 現代の親のあり方。園任せ、マニュアル通りの子育てについて（保育士）
- 田中先生もっともっとお話しをうかがいたいと思います。（保育士）
- 人と向き合う立場の精神面のケア、トレーニングに関するもの。大人になりきれていない大人の心を強くするための講演会など。メディア漬けの時代をどう向き合って生きていくか本当に大切な人間力とは。子どもと大人の関係づくり。（保育士）
- 再度、田中先生の話を知りたい。（保育士）
- 田中先生の講演（保育士）
- 一般の人にも同じようなことをきける講演会があればと思います。（保健師）
- コミュニケーションスキル（保健師）
- 次回もぜひ田中先生の講演をききたいです。（保健師）
- 支援者の支援について、ストレスについて（保健師）
- 人との関わり方、コミュニケーションスキル、田中先生（保健師）
- 今回のような内容のもの（保健師）
- 繰り返し聞きたいです。（保健師）
- また、田中万里子先生のお話を伺いたいです。（保健師）
- 実際にさまざまな場面を経験してきた方や事例でもって話してほしい。（保健師）
- 子どもの心のケアなど（看護師）
- また、田中万里子先生の講演をお願いします。（相談職）
- 今回のような内容の講演会を再度希望します。（相談職）
- 援助者自身の心のケアについて（相談職）
- 相手の話を聞く、傾聴する、ということを知りたいです。田中先生の講演を希望します。（相談職）
- ぜひ次回も田中先生をお願いします。（相談職）
- 傾聴する時のコツなど（子育て支援サポーター）
- いじめ、不登校、とじこもりについて（人権擁護委員）
- 阪神の事例紹介（発災後3-5年の心のケアの取り組み）（NPO 法人職員）
- 親や学校の先生でもない第三者としての関わり方。専門家ではなくても子どもとどう接していくか。（NPO 法人職員）
- もう一度田中先生の話を知りたいです。（行政職）
- ケースに分けたお話や、講演中に3つほど教えていただいた質疑応答などをより多くしてもらいたいです。（学生）
- 継続して子どもの心のケア、それに伴う支援、接し方を勉強できたらいいです。（事務職）
- 対人関係（地区民生委員）